

支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



祝！「めっけもん広場25周年」

めっけもん広場は11月3日でオープン25周年を迎え、1日～3日に「めっけもん広場25周年感謝祭記念イベント」を開催しました。

イベント広場付近では、めっけもん広場運営委員が主体となって、出荷者協賛品の農産物などが当たる「ガラガラ抽選会」や地元産の新米「きぬむすめ」のすくいどり、野菜や果物の詰め放題など、盛りだくさんの催しで皆さんに喜んで頂きました。



今後も「めっけもん広場」をよろしくお願ひします。



粉河支店

第1回JAわかやま
粉河支店ふれあいまつり

10月25日、粉河支店敷地内にて「粉河支店ふれあいまつり」を開催しました。

当日は約1,800名の地域の皆さんが来場され、子どもから大人まで楽しめる様々な催しや各組織の模擬店などで大いに盛り上がりました。

また、ステージでは各種の音楽やダンスが披露され、会場全体が熱気に包まれるほどでした。

県1JA合併後、初めてのふれあいまつりでしたが、例年以上の盛り上がりで、地域の皆様と交流を深める場となりました。



那賀支店

紀の川柿の「目揃え会」
開催

10月10日、JAわかやま農産加工センターにて「紀の川柿」の目揃え会が開催されました。生産者や関係者が集まり、出荷に向けて品質や選別基準を確認し、統一した出荷体制を整えました。紀の川柿は、和歌山を代表する秋の味覚で、ビタミンCやポリフェノールを多く含み、風邪予防や美肌効果にも優れています。今後も高品質な柿の出荷を通じて、県内外へ和歌山の秋の恵みを発信していきます。



桃山
支店

めっけもん広場が やってきた!!

10月24日、桃山支店前にて、めっけもんの移動販売と購買のミニ展示会を開きました。午前10時30分の開始でしたが、早朝から大勢の人たちが集まり、旬の野菜、果物、手作りカレーパン、コロッケなどをお買い求めしていました。

職員と組合員とも言葉を交わしながら、わきあいあいと時間は過ぎ、午後1時30分好評のうちに終了となりました。



打田
支店

年金友の会 親睦旅行!!

打田支部は10月20日～21日に年金友の会親睦旅行に行ってきました。当日は、小雨であいにくの天気でしたが、皆さん親睦旅行を満喫している様子でした。

行先としては静岡県焼津市へ行きました。静岡と言えば日本を代表する富士山があります。当日、富士山には霧がかかり上手に見ることができませんでしたが、怪我もなく皆様楽しんで頂けたと思います。



岩出
支店

ふれあい祭りの開催

10月18日岩出支店において「岩出支店ふれあい祭り」を開催しました。組合員や地域の方々約1000人が来場され、会場では和太鼓の演奏、かがやき部会のフラダンス、おでんやカレーの販売、小型農機展示会、ビンゴ大会、こどもコーナーが行われ大盛況でした。

締めくくりには岩出支店協同活動運営委員の協力により、「もち投げ」を行い、大人や子供達にも楽しんでもらいました。これからも地域に根差した活動を行っていきます。



貴志川
支店

稲刈り体験

10月17日、西貴志小学校の生徒たちが稲刈り体験を行いました。5月の初播き、6月の田植えに引き続いての学童農園です。

先生から鎌の持ち方や稲の刈り方を教えてもらった生徒たちは、はじめは恐る恐るでしたが、慣れてきてからはみんな楽しそうに稲刈りを行っていました。

参加した生徒たちからは「はじめは難しかったけど、だんだん上手にできるようになって楽しかった」「お米作りの大変さがわかった～」という感想が寄せられました。

2025.12

最新の農作業情報は
ホームページからご覧になれます

【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ

右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。

組合員様専用ページ

aguri

kinosato11

ログイン情報も記憶

ログイン

野菜

玉葱

●追肥

12月上旬が一回目の追肥時期のため、10a当たり燐加安44号を40kg施用してください。また1月下旬には二回目の追肥として、10a当たりアズマップ545を40kg施用しましょう。

●除草剤

雑草発生園では、10a当たりイネ科雑草に効くセレクト乳剤75ml(21日/3回)と広葉雑草に効くバサグラン液剤120ml(30日/1回)を水100ℓに溶かし雑草茎葉散布してください。

●病害虫防除

表1を参考に防除を行いましょう。

いちご

温度管理は25〜27℃、それ以上になれば徐々に換気し温度を下げましょう。換気による急激な温度変化は避けましょう。

かん水は日の出後、葉面に太陽光が当たつて2時間後を目安に行いましょう。

着果負担が大きい時期です。温度管理やかん水(追肥)は株に負担を掛けないよう、こまめに行いましょう。

●病害虫防除

ダニやアブラムシなど微細な害虫は、生長点に発生している場合があるので丁寧に散布しましょう。薬剤散布はハウスの閉め込みまでに乾くようにしてください。(薬害の懸念)

防除後に蜜蜂を入れる際は、よく換気してからにします。(薬剤については紀のわ11月号を参照)

果実の着色期以降が本格的な追肥時期となります。OKF1を3.5kg/10a程度を液肥として10〜14日間隔で与えましょう。

第2花房は株当たり12〜15花に摘花し、株の消耗を和らげましょう。電照は樹勢をみながら調整しましょう。

ウスイエンドウ

風揺れを防止するため、早めにネットを張りましょう。冬場でも根は動いています。乾燥が続くようであれば、かん水を行いましょう。

●表2を参考に防除してください。

●除草剤

雑草発生園では、10a当たりバスタ液剤(又はザクサ液剤)500mlを水100ℓに溶かし、エンドウに掛からないよう畝間に散布してください。

一寸そら豆

葉が6〜8枚のころ、5〜6節を残して摘芯しましょう。その後発生した脇芽は6〜7本程度に整枝し、倒伏防止に少しづつ土寄せを行いましょう。また、畝の両側に支柱を立て、テープなどを引き倒伏を防ぎましょう。

●追肥

一回目の追肥は11月中旬に行います。まだ追肥を施用していない場合は高度化成403(又は紀の里化成403)を10a当たり40kg、株周りに施用してください。

●病害虫防除は、表3を参考に散布してください。

表1. 玉葱の防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期/使用回数
ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/6回
べと病	ピンロックフロアブル	1000倍	前日/3回
べと病、白色疫病	ジマンダイセン水和剤	500倍	3日/5回

表2. ウスイエンドウの防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期/使用回数
ヨトウムシ	トレバン乳剤	1000倍	前日/2回

表3. 一寸そら豆の防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期/使用回数
アブラムシ類 ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/3回
さび病、輪紋病	ジマンダイセン水和剤	600倍	30日/3回

白菜・キャベツ・ブロッコリー

雨天日が続くといろいろな病害の発生が多くなってきます。

細菌性の病気には、軟腐病・黒腐病などがあり、かび性病害にはべと病・菌核病・白斑病等があります。発病株はできるだけ圃場外へ持ち出し、処分しましょう。

う。

薬剤散布については各作物への登録内容を確認の上、使用してください。(薬剤については紀のわ11月号を参照)

定植して間もなくの春キャベツなど、薬剤が株元に届くうち(大きく育つまで)に防除しましょう。

また、低温期でも、重なる葉の間にアブラムシが発生することがあります。葉裏や新芽をよく観察し防除しましょう。

青ねぎ

●育苗管理

11月上旬播きのプラグ育苗で込み合う場合は、先刈りしてください。

発芽後は過湿と過乾に気をつけ、日中は換気に努めてください。

●定植

定植地が乾燥している場合は1〜2日前に十分かん水してください。

1株あたりの植え付け本数は9〜14本で直立植えとします。植え付け間隔は、畝幅120〜130cm、株間12cmの4条植えとします。

●元肥と病害虫防除は、表4を参考に行ってください。

表4. 青ネギの施肥と防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期/使用回数
ネギアザミウマ	ハチハチ乳剤	1000倍	7日/2回
	アグリメック	500-1000倍	3日/3回
	ディアナSC	2500倍	前日/2回
	グレーシア乳剤	2000-3000倍	7日/2回
べと病	フォリオゴールド	800-1000倍	14日/3回
	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍	14日/3回
	ピンロックフロアブル	1000倍	前日/3回
さび病	ジマンダイセン水和剤	600倍	14日/3回
	シグナムWDG	1500倍	7日/3回
	アミスター20フロアブル	2000倍	3日/4回

※アミスター20フロアブルは単用で使用してください。

表 5. 菜の花の防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期/使用回数
コナガ、 ヨトウムシ類	プロフレアSC	2000-4000倍	前日/3回
	グレーシア乳剤	3000倍	7日/1回
	ディアナSC	2500-5000倍	前日/2回
	アクセルフロアブル	1000-2000倍	前日/3回
	コテツフロアブル	2000倍	3日/2回
アブラムシ	トランスフォームフロアブル	2000倍	前日/3回
	アグロスリン水和剤	1000倍	7日/3回
	スタークル顆粒水溶剤	2000-3000倍	3日/2回
べと病、 黒斑病 白さび病、 白班病	ダコニール1000	1000倍	出蕾前 (収穫21日前) /3回
白さび病	ピンロックフロアブル	1000倍	前日/3回
	ランマンフロアブル	2000倍	3日/3回

●病害虫防除は、表5を参考に散布してください。

●収穫は蕾が割れる(黄色っぽくなる)前に遅れないように行いましょう。

肥料切れさせないよう、収穫開始時から高度化成403(又は紀の里403)を20kg/40kg/10aで、2週間間隔を目安に施用しましょう。

●強風などによる倒伏防止に土寄せを行います。降雨後長く通路に水が溜まると生育不良になるので、排水を心掛けてください。

●収穫期までにヨトウムシ類、アブラムシの防除をしましょう。

菜の花

表 4. 青ネギの施肥と防除例

●(11~3月定植)10a当たりの施肥(元肥)
※元肥は定植の10日前に施用し、よく深耕してください。

完熟堆肥	1000kg
苦土セルカ2号	120kg
BMヨーリン	40kg
紀の里5号ペレット	150kg
燐加安44号	50kg

●中晩柑の収穫
中晩柑類は収穫し出荷まで時間がかかるので、収穫前には必ず防除剤を散布

●カイガラムシ・ハダニ類防除
近年、カイガラムシ類・ハダニ類の発生が多く見受けられます。冬季に越冬害虫の密度を下げておくことが重要です。1月中旬までに機械油乳剤95を45倍で散布してください。散布にあたっては、暖かく好天が続く日を選び樹幹内部まで薬液が届くよう丁寧に散布してください。

また、土壌が酸性化している園地では苦土やリン酸の肥効低下の障害が発生している場合が多いです。土壌pHを適正に保つためには石灰質資材のセルカ又は苦土入りセルカ2号を10a当たり120kg施用してください。また苦土が欠乏している園地では、スーパーマグを10a当たり60kg施用してください。

●土作り・土壌改良
高品質な果実を連年生産するためには、良質な土づくりを行うことが大切です。そのためには土壌分析を行い、それぞれの園地において不足している成分を把握してください。冬季に、不足している成分を補給し土壌成分のバランスを整えましょう。

●完熟堆肥は施用することで土壌の団粒構造が改善され、根の伸長が良くなり、保水性や保肥力が向上します。完熟堆肥を10a当たり2t施用してください。労力的に完熟堆肥を施用できない場合は、アヅミンを10a当たり80kg施用してください。

柑橘

しましう。基本的に熟期に達した果実から収穫を行います。ハサミ傷や果実の取扱いは十分注意して、予措を行ったのち貯蔵を行います。予措・貯蔵の方法は、先月号を参考にしてください。

●冬草除草
この時期の雑草は、草丈が短いので、少量の散布で効果があります。抑草期間の長い薬剤として、ラウンドアップマックスロード100倍(収穫7日前/5回)、又はタッチダウンIQ100倍(収穫5日前/3回)で除草を行ってください。

●整枝・剪定について
キウイフルーツは樹液の流動が早いいため、剪定は2月上旬までには終わらせましょう。整枝に関しては、二本主枝の二文字整枝を基本に行いましょう。

●結果母枝は直接主枝からとりませんが年数が経つにつれ側枝からとることが増えます。100cm/150cmの新梢を結果母枝として用い、1m当たり3本程度の結果母枝を残します。最近では結果母枝間隔40cmを目安にすることが多いです。結果母枝は翌年に側枝となり年数が経つにつれ結果部位が先端へ移動してしまうので、基部付近から発生した新梢を使って側枝の更新を行ってください。

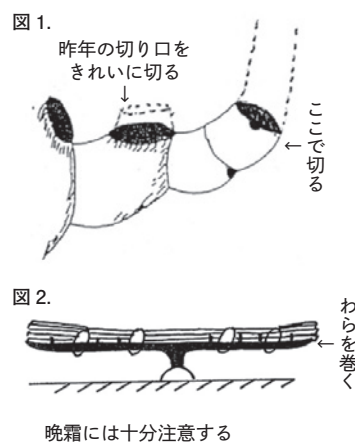
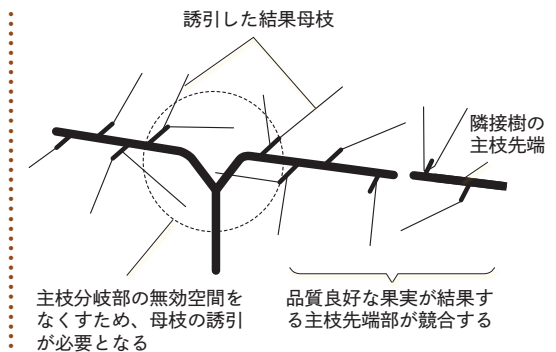
●短果枝については1/3〜1/2程度切り返しを行い、翌年の良い結果母枝(中長果枝)になるようにします。

●主幹周りや空間ができている場所は、返し枝を使い、棚全体に結果母枝を配置できるようにしてください。

落葉果樹

イチジク

●整枝・剪定について
整枝については、二文字整枝です。基本的に、二芽〜三芽残すように切ります。切る所は、節より上の2〜3mm残るように切ります。また、昨年の切り口をきれいに切つて、枯れこみを防ぎましょう。(図1)また、切り口には、癒合剤を塗りカルスをまきやすくしましょう。



●防寒対策
一文字整枝は寒害を受けやすいため、防寒対策として主枝上にワラなどを巻きつけて保護を行いましう。(図2)

落葉果樹 今月の防除例

品 目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	使用基準
スモモ	1月中旬	(展着剤) カイガラムシ類 越冬病害虫	ネオエステリン	5,000倍	—/—
			石灰硫黄合剤	7～10倍	発芽前/—
桃	12月～1月	カイガラムシ類 カイガラムシ類幼虫	ハーベストオイル	25～50倍	発芽前/—
			アプロード水和剤	1,000倍	14日/3回
キウイフルーツ	1月	カイガラムシ類	機械油乳剤95	25倍	—/— ICボルドー66D 散布園では2週間あける
梨	12月～2月	ハダニ類	ハーベストオイル	50倍	発芽前/—
		カイガラムシ類	アプロード水和剤	1,000倍	30日/2回

● **柿**：
粗皮削り
柿の粗皮下では、カキノヘタムシ・カイガラムシ類の害虫が越冬します。そのため、冬期に粗皮削りを行い、越冬害虫の密度を減らしましょう。

落葉果樹の土づくり・土壌改良の基準

品 目	施用時期	10aあたりの施肥例
イチジク	12月～1月	完熟堆肥 2t 又は アヅミン 80kg セルカ又は苦土セルカ 2号 120kg ※土壌分析結果で苦土が少ない園ではスーパーマグ60kg
キウイフルーツ		
柿	1月～2月	
梨	12月～1月	完熟堆肥 2t 又は アヅミン 80kg セルカ又は苦土セルカ 2号 120kg

落葉果樹の苗木の植え方

- 下記二次元コードで落葉苗木の植え方と注意点を添付しましたので、参考にしてください。
- 届いた苗木は乾燥と低温に弱いため、手もとに届いたら速やかに水に浸けましょう。また、すぐに植付ができない場合は、仮植えを行いましょう。



花

省エネ対策に、以下の項目で活用できるものを再度確認し、少しでも暖房効率を上げ経費節減できるよう心がけてください。

● 施設管理

・ハウスの内補修と谷部や内張カーテン等の隙間の目張りを行い、気密性を高める。

・自動カーテンの開閉状態を点検する。

・内張りカーテンを2重に張る。特に出入り口やサイドを2重に被覆する。

● 暖房機管理

・暖房機の点検、釜・煙突の掃除を行い、効率よく燃焼させる。

・温度制御装置が正しく作動しているか点検し、室内温度が適正か確認する。

● 温度管理

・ダクトの配置を調整し、室内の温度ムラを補正する。

・循環扇を用い、室内の温度ムラをなくす。

・換気は夕方早めに終了し、保温に努める。

● 地温管理

・透明マルチの使用など地温を確保する。

・かん水は作物の葉に陽光が当たり始めて2時間後を目安に行う。

● しゃくやく

畝の上にワラを敷いている場合は取り除き、株を低温にあてるよう心がけてください。十分な低温にあてることにより、休眠が明け萌芽期に充実した芽が出るようになります。

また、土壌改良資材として、10a当たり、苦土セルカ2号を60kg施用してください。ハウスの作型では、1月中旬からの

表2. ストックの防除例

※展着剤としてスカッシュを1000～2000倍で加用してください。

病害虫名	薬剤名	倍 数
アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍
	ウララDF	2000倍
コナガ	プロフレアSC	2000～3000倍
	グレーシア乳剤	2000倍
	トルネードエースDF	2000倍
	チューンアップ顆粒水和剤	2000倍
灰色カビ病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍
	パレード20フロアブル	2000倍
	ゲッター水和剤	1000倍

表1. しゃくやくハウス被覆時期

品 種	被覆時期
ラテンドレス	1月15日～
サラベルナール	
滝の粧	1月20日～
滝沢赤	
華燭の典	
新 珠	
P.ローズ	2月5日～
富 士	
コーラル系	
ポーラフェイ	

● 病害虫防除は、表2を参考に散布してください。

● **ストック**
冬場の土壌乾燥は品質を低下させますので土壌水分管理に注意しましょう。灰色カビ病は多湿条件で発生が助長されるため、かん水後、防除後によく換気しましょう。

● 保温(表1)に備えて被覆資材を準備しましょう。

マルチ被覆前には土壌水分を確保し、芽出し肥の施用と除草剤の散布を行います。



営農

登録失効農薬にご注意!



近々の登録失効農薬のうち、主だったものについて下記の通りお知らせします。
登録失効後の使用は控えましょう。

商品名	登録失効予定期日など
エムダイファー水和剤	2026年(令和8年)10月
トラサイドA乳剤	2026年(令和8年)10～12月
ベフラン液25	2025年(令和7年)10月末で失効済
ホーマイコート	2026年(令和8年)11月
ポリオキシシンAL	2028(令和10年)年5月 乳剤は2026年(令和8年)10月、 水溶剤は2027年(令和9年)10月に 販売終了予定。
ユニハープフロアブル	2027年(令和9年)度内 既に在庫販売となっています。 代替：サキドリEW

金融

休日渉外訪問活動のご案内

渉外担当者が休日に訪問させていただき、共済の請求漏れはないかの確認や、各種相談に対応させていただく活動を行っています。



次回訪問は
1月25日(日)です!!

例えば…

貯金・学資金の準備・住宅の新築、
リフォーム・車の購入
住宅ローン金利見直し・老後の年金・
相続・建物の保障
生命共済(保険)の加入内容について等
*わからないこと、困ったことは各支店窓口・
渉外担当者までお気軽にお問い合わせください。

購買

「令和8年度 肥料・農薬(3～8月期)」予約とりまとめについて

高品質作物生産の基本は土づくりと基本施肥、適期防除です。そのための準備として、3月～8月期の肥料・農薬の予約取りまとめを令和8年1月に行います。この機会に是非、お申込みいただきますようお願いいたします。

☆予約特典☆

- ①当用価格より安く購入いただけます。
- ②肥料は一括直送(引取)のご利用で100円または50円の値引き。

また、予約引取についても40円の値引き。(一部20kg袋対象)
詳しくは営農経済センター・事業所の購買担当者にお問い合わせください。



販売

八朔の季節がやってきました。

冬から春にかけて、爽やかな香りとみずみずしい果肉が魅力の「八朔」が旬を迎えます。八朔は、和歌山県をはじめとする温暖な地域で育つ日本生まれの柑橘で、ほどよい酸味と上品な甘み、そしてぷりっとした食感が特徴です。口に入れると、甘酸っぱさがじんわりと広がり、後味はすっきり。冬の重たい食事の後や、気分をリフレッシュしたい時にぴったりの果実です。

また、八朔にはビタミンCやクエン酸が豊富に含まれており、風邪予防や疲労回復、美肌づくりにおすすめです。地元産の八朔は、もぎたての新鮮さが自慢。この時期ならではの自然の恵みを、ぜひご家庭で味わってみてください。

